



☆36号 平成20年8月25日
作成者 池部徹
…遅刻の仕方?..

自信は客車

あれは確か…平成16年3月13日私はTさんの講演会場にいました。数百名の観客でにぎわっていましたが、開演時間となり会場がどよめきました。というのは司会者より“本日来賓挨拶を頂く S 県知事が交通渋滞のため開演を15分程度遅らせる”とのアナウンスがあったからです。“15分も～もう始めてよかじゃなかねー！”みたいな声があちらこちらで…しかし、なんと S 県知事！5分程度で到着。その瞬間「早かったじゃなかねー！よかよか！」と満足そうな観客。私は司会者の運営さばきに感銘しました。

皆さんは、約束時間に遅れそうな時
「あと5分で着きます！」と言いながら
10分も遅刻することありませんか？

私はたまにあります」…反省・反省・反省
“時間の約束”は軽視しがちですが
人間性を量られる重要な要素です。遅刻しないように余裕を持った計画性ある行動・誠が大切です。しかし…



それでも万が一遅刻する時は、事前に連絡をして勇気を持って長めの到着時間を言い、その時間よりも早く着きましょう！そうすれば、信用が逆に上がることがあるかもしれません。

～この手もたまに…ですよ～